

教育研究データ			
1. 氏名	白石 崇人		
2. 生年月	1979年4月		
3. 取得学位	博士（教育学）		
4. 教育業績			
教育上の能力に関する事項	年月	概要	
(1) 教育内容・方法の工夫 ①ICT 機器の活用	平成 19 年 10 月～	ICT 機器を活用し、教材として動画を用いてきた。また、平成 27 年 4 月からは iPad を用いた授業を展開している。特に Glexa を用いて、小テストによる即時の学修フィードバックや資料提供を行い、アクティブラーニングの授業を実践している。	
	平成 26 年 4 月～	シラバスに事前・事後学修を表記（テキストや資料の読書や、ノートまとめなど）。小テスト・ノート提出を課して学修のフィードバックを行い、学修促進の工夫をしている。	
(2) 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	2015 年 8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県教育職員初任者研修で「明治期鳥取県における「研究」する教師の起源」の講演 ・岡山県井原市教育センター自主事業で「明治期における「研究」する教師の起源―「後月郡教育会の研究」に向けて」の講演 	
5. 研究業績			
(1) 著書	単著 共著 の別	発行の 年月	発行所
①『保育者の専門性とは何か』幼児教育の理論とその応用②（改訂版）	単著	2015 年 4 月	社会評論社（初版は 2013 年 4 月）
②明治期大日本教育会・帝国教育会の教員改良 一資質向上への指導的教員の動員一	単著	2017 年 2 月	溪水社
(2) 学術論文	単著 共著 の別	発行の 年月	掲載紙および巻/号, 頁
①明治 20 年後半における大日本教育会研究組合の成立	単著	2008 年 9 月	『教育学研究』第 75 巻第 3 号, 1-12 頁（日本教育学会）
②教員養成における教育史教育	単著	2016 年	『広島文教女子大学高等教育研

		3月	究』第2号, 29-48頁
③日本の学校における道徳教育の展開—修身教育、教育活動全体、道徳の時間、特別の教科—	単著	2016年 12月	『広島文教女子大学紀要』第51巻, 47-57頁
④明治30年代半ばにおける教師の教育研究の位置づけ—大瀬甚太郎の「科学としての教育学」論と教育学術研究会の活動に注目して	単著	2017年 10月	『日本の教育史学』第60集, 19-31頁 (教育史学会)
⑤現代日本の教育政策における学校・地域の連携協働構想—平成27年中央教育審議会答申以降に注目して	単著	2017年 12月	『広島文教女子大学紀要』第52巻, 33~43頁
(3) 研究・作品発表		発表の年月	発表学会等
①1900年代鳥取県教育会における小学校教員批判—教育研究態度の改良に向けて」		2014年5月	単独・口頭, 全国地方教育史学会第37回大会
②明治30~40年代における「教師が研究すること」の意義		2015年11月	単独・口頭, 中国四国教育学会第67回大会
(4) 所属学会			
① 日本教育学会			
② 教育史学会			
③ 中国四国教育学会			
④ 全国地方教育史学会			
⑤ 日本教育史研究会			